

次期学習指導要領 1枚まとめ｜小学校

音楽・図画工作 小学校

思いをもつことから表すまでを、一続きの学びに

10秒でいうと　音楽は「歌唱」と「器楽」を「歌唱・器楽」に統合。図工は発想から表すまでを思考・判断・表現に

小学校の音楽と図画工作では、「思いをもつこと」と「体を使って表すこと」を一続きでとらえる方向です。音楽は、表現の区分を「歌唱・器楽」と「音楽づくり」の2つに整理する案です。図画工作は、発想から工夫して表すまでの全体を「思考・判断・表現」として示す方向です。評価は、題材ごとに全観点を記録しなくてよいことが示されています。

1 音楽は「歌唱・器楽」を1つの区分に

小学校音楽の表現を「歌唱・器楽」と「音楽づくり」の2つで整理する案です。同じ曲を歌と楽器で扱うとき、ねらいを絞った指導や評価がしにくいという課題があったためです。「ハ長調・イ短調」のような具体的な記述は、内容の取扱いへ移すことが検討されています。P215 P216 P219

授業では 1つの曲を歌ったり、楽器で演奏したり、合奏したりしながら、ねらいを1つに絞って見取る、といった授業が考えられます。

2 図画工作は、表すまでの流れ全体を「思考・判断・表現」に

図画工作では、発想や構想と、工夫して表す段階を分けにくいという課題がありました。そこで、表すまでの流れ全体を「思考・判断・表現」として示す方向です。区分も、学びの向きが分かるよう「自分と材料や場所」「自分と表したいこと」などで整理する例が示されています。P214 P215 P216

授業では 作品の出来だけでなく、材料を試しながら考えを変える途中の姿を、写真やつぶやきで記録して見取る授業が考えられます。

3 鑑賞にも「技能」を示す

作品から特徴を見付けたり、情報を読み取ったりする「鑑賞の技能」を示す方向です。鑑賞で育てる力をはっきりさせ、効果的な指導につなげるねらいです。表現と鑑賞を行き来する学びも大切にされています。P216 P219

授業では 友達の作品を「色」「形」「並べ方」などの手掛かりで見て特徴を見付け、自分の作品づくりに生かす、といった授業が考えられます。

4 評価は年間を見通してまとめてよい

短い題材でも全観点を記録しようとして、まとめの評価ばかりになる実態が指摘されました。そこで、年間計画をふまえ、複数の題材をまとめて総括的評価（まとめの評価）をしてもよいことを促す方向です。途中の形成的評価（指導に生かす評価）を重視し、一人一人のよさを肯定的に見ます。P221

授業では 年間計画を見て、どの題材でどの観点を記録するかを先に決めます。ほかの時間は声かけと助言に力を注ぐ、といった工夫が考えられます。

ほかにも変わること（小学校）

- 小学校音楽：「歌唱」と「器楽」を「歌唱・器楽」の一つの区分にする案 P215 P216 P219
- 発想・構想から工夫して表すまでを、まるごと「思考・判断・表現」に P212 P214 P216
- 評価：題材ごとに全観点を記録しなくてよい。複数題材でまとめて総括も可 P221
- 図画工作・美術：学びの方向が分かる新しい区分と〔共通事項〕の見直し P215 P216 P219
- 鑑賞にも「技能」を示す（図画工作・美術・工芸・書道） P216 P219
- 音楽：知識と技能を一文で示し、「身体の使い方」を重視 P216 P219
- マンガ・アニメ・ゲーム・映像など、多様な芸術や文化の学びを充実 P218
- 生成AIは「ツール」として。表現の過程を安易に任せない P221

原田英語.com 次期学習指導要領ナビ｜
https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/download/
｜2026年11月4日 版

研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。ご連絡は不要です。出典：審議まとめ（2026年10月5日）。告示前の方向性です。